支援プログラム

児童発達支援　言の木　｜　合同会社 INTER REACTIVE

公表日　2026 年 11 月 16 日

1・事業所の基本情報

法人名	合同会社 INTER REACTIVE
事業所名	児童発達支援　言の木
所在地	北海道石狩市緑苑台東 2 条 1 丁目 74 番地
営業日	月曜日〜金曜日（祝日、12 月 29 日〜1 月 3 日を除く）
営業時間	8:45〜16:45
支援提供時間	午前 9:30〜11:10／午後 13:30〜15:10（各 100 分）
利用定員	1 日 10 名（午前 5 名・午後 5 名）
対象	児童福祉法に基づく児童発達支援の支給決定を受けた未就学児

2・法人理念・支援方針

今、必要な支援を、生活の場へ。専門性とやさしさで、子どもと家族を支えます。

- お子さま一人ひとりの発達、強み、興味、生活背景を丁寧に捉え、本人主体の支援を行います。
- 言語聴覚士等の専門職による評価と個別支援を軸に、遊びや生活場面へつながる力を育てます。
- 保護者を孤立させず、家庭・園・医療・相談支援等と連携して、切れ目のない支援を目指します。
- 子どもの権利と意思を尊重し、安心して過ごせる環境と分かりやすい関わりを整えます。

3・支援内容と 5 領域との関連

領域	主な支援内容	主なねらい
健康・生活	健康状態、生活リズム、食事・排泄・着脱等を把握し、自分で見通しをもって行動できるよう、視覚的な手掛かりや環境調整を行います。摂食・嚥下や口腔機能に関する相談にも対応します。	生活動作、食事、口腔機能、自己調整
運動・感覚	姿勢、粗大運動、手指操作、感覚特性を評価し、遊びや課題を通して身体の使い方と活動参加を支援します。必要に応じて理学療法士等と連携します。	姿勢・運動、巧緻性、感覚調整
認知・行動	注意、記憶、視空間認知、数量・概念、見通し、気持ちや行動の調整を、発達段階に合わせた教材や遊びで支援します。行動の背景を捉え、環境調整を優先します。	注意・記憶、概念形成、実行機能、行動調整
言語・コミュニケーション	ことばの理解・表出、語彙、文、会話、ナ	理解・表出、構音、会話、読み書きの基礎

領域	主な支援内容	主なねらい
	ラティブ、発音、音韻認識、聞き取り等を評価し、個別課題と遊びを通して支援します。必要に応じて代替・補助コミュニケーションも活用します。	
人間関係・社会性	大人や友達とのやりとり、共同注意、模倣、ルール理解、感情理解、自己表現を支援します。安心できる関係を基盤に、小集団や生活場面への般化を促します。	愛着・安心、対人関係、社会的ルール、自己理解

4・本人支援の進め方

- アセスメント：発達歴、生活状況、本人・家族の希望、検査・観察等から全体像を把握します。
- 計画：5領域との関連を踏まえた児童発達支援計画を作成し、本人・保護者へ分かりやすく説明します。
- 実施：個別支援を中心に、遊び、生活活動、小集団活動等を組み合わせます。
- 振り返り：毎回の記録と保護者共有を行い、モニタリングにより計画を見直します。

5・家族支援

- 発達やコミュニケーション、食事、生活上の困りごとに関する相談・助言
- 家庭で無理なく取り組める関わり方や環境調整の提案
- 支援内容・評価結果の分かりやすい説明と、保護者の意向を踏まえた目標設定
- きょうだいを含む家族全体の負担感に配慮した相談支援

6・移行支援

- 保育所、幼稚園、認定こども園、学校等への移行に向けた情報整理と引継ぎ
- 集団生活で必要となる環境調整、コミュニケーション方法、合理的配慮の検討
- 保護者の同意に基づく園・学校・相談支援事業所等との情報共有

7・地域支援・地域連携

- 園・学校・医療・相談支援・他事業所等との連携会議、情報共有
- 必要に応じた生活場面の把握と、関係機関への専門的助言
- 地域の子育て・発達支援資源との連携および適切な機関へのつなぎ

8・職員の質の向上

- 法定研修、虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症、BCP、安全管理等の研修
- 症例検討、支援記録の振り返り、専門職間のケースカンファレンス
- 外部研修への参加と、学んだ内容の事業所内共有
- 自己評価・保護者評価を年１回以上実施し、改善内容を公表

9・主な行事等

季節や利用児童の状況に応じた活動、防災・避難訓練等を実施します。行事の有無にかかわらず、日々の支援では子どもの負担と安全を優先し、個別性に配慮します。

10・公表・見直し

本プログラムは、支援実績、自己評価、保護者からの意見、関係法令・ガイドラインの改正等を踏まえ、少なくとも年１回確認し、必要に応じて見直します。